

令和4年度事業報告書

【概要】

人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”を目指し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で事業を推進した。

「淡路を担う人づくり」では、淡路島くにうみ講座(6回開催)に約1,000名の参加を得、淡路島の魅力を広く周知するとともに、永田青嵐顕彰全国俳句大会において、4,575名から7,667句の投句があり、3年ぶりに表彰式を開催するなど、各種事業を通じたふるさと意識の高揚を図った。

「花と緑豊かな環境づくり」では、島民の参画を得ながら島内各地で淡路花祭や花の札所事業など多彩な緑花事業を展開し、一年を通じて花の島・淡路島をアピールした。

「活気あふれる地域づくり」では、淡路島の地域活性化に取り組む団体等への助成を行ったほか、淡路島フィルムオフィスの活動支援や淡路島日本遺産のPRなどに取り組み、多角的に淡路地域の活性化と交流人口の増加を図った。

「あわじ環境未来島構想の推進」では、島内の事業者へのEV車両の導入支援や家庭用蓄電池の導入支援などにより、島民の省エネに対する意識向上を図った。

【事業内容】

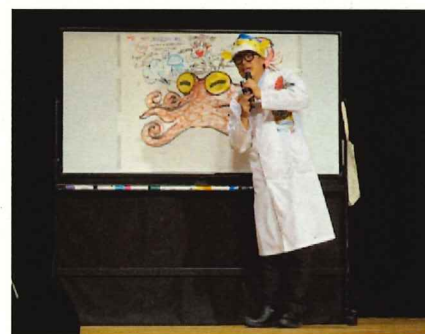
I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座

淡路島の地域活性化と淡路を担う人づくりを目的として、年間6回実施した。

<第1回>

演 題	「ギョギョッ！淡路島の海～お魚と水環境の話～」
講 師	さかなクン(東京海洋大学名誉博士)
実 施 日	令和4年7月3日(日)
場 所	洲本市文化体育館文化ホール
参加者数	462名



【第1回講座】

＜第2回＞

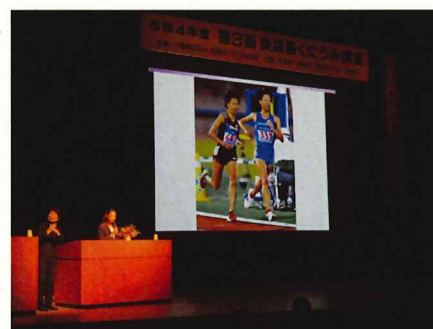
演 題 「自然を感じ、心に伝わる風景づくり
～ナチュラルスティックガーデンの魅力～」
講 師 平工 詠子氏(植栽デザイナー・ガーデナー)
実 施 日 令和4年9月 25 日(日)
場 所 淡路夢舞台国際会議場イベントホール
参加者数 139 名



【第2回講座】

＜第3回＞

演 題 「人との絆(たすき)に込めた想い
～淡路島へのメッセージ」
講 師 小林祐梨子氏(元陸上競技選手)
実 施 日 令和4年 11 月5日(土)
場 所 洲本市文化体育館文化ホール
参加者数 102 名



【第3回講座】

＜第4回＞

演 題 「古代国家を支えた淡路の海人の営み
～日本遺産に認定された淡路島～」
講 師 浦上雅史氏(淡路島弁財天厳島神社宮司)
実 施 日 令和4年 12 月 12 日(月)
場 所 洲本市文化体育館会議室
参加者数 110 名



【第4回講座】

＜第5回＞ (第14回永田青嵐顕彰全国俳句大会と併催)

演 題 「季題あれこれ」
講 師 三村純也氏(俳人・俳誌「山茶花」主宰、
大阪芸術大学教授)
実 施 日 令和5年2月 12 日(日)
場 所 洲本市文化体育館文化ホール
参加者数 134 名



【第5回講座】

＜第6回＞

演 題 「持続可能な花のまちづくり～手抜き、簡単、誰でもできる花のまちづくり～」
講 師 白砂伸夫氏(神戸国際大学教授)
実 施 日 令和5年3月25日(土)
場 所 洲本市文化体育館会議室
参加者数 129名



【第6回講座】

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会

淡路島出身の俳人 永田青嵐(本名:秀次郎)の功績を広く全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚を図るため、第14回全国俳句大会のほか、吟行バスツアー、出前講座等を実施した。

(1) 第14回全国俳句大会

投句募集期間 令和4年6月～9月末
応募人数 一般949名、学生3,626名 計4,575名
投句数 一般1,867句、学生5,800句 計7,667句
選 句 代表選者稲畑廣太郎氏と選者5名により受賞句を選定
表 彰 式 令和5年2月12日(日)
洲本市文化体育館文化ホール



【第14回表彰式】

(2) 吟行バスツアー

実 施 日 令和5年2月13日(月)
行 程 虚子記念文学館(芦屋市)(稲畑汀子回顧展観覧と句会)
参加者数 17名

(3) 出前講座(3回)

- ① 開催場所 県立洲本実業高等学校
開 催 日 令和4年9月14日(水)
講 師 正井良徳氏、高野さち氏(選者)
参加者数 40名(3年生)
- ② 開催場所 洲本市立由良中学校
開 催 日 令和4年9月16日(金)
講 師 正井良徳氏、高野さち氏(選者)
参加者数 15名(3年生)



【出前講座(由良中学校)】

- ③ 開催場所 淡路市立志筑小学校
開催日 令和4年9月22日(木)
講師 正井良徳氏、高野さち氏(選者)
参加者数 62名(6年生)

(4) 入門講座

- 開催場所 洲本市立文化体育館会議室
開催日 令和4年7月29日(金)・8月4日(木)・18日(木)
受講回数 3回(座学2回、句会体験1回)
講師 正井良徳氏、三根香南氏、高野さち氏(選者)、水田むつみ氏(外部講師)
参加者数 39名(延べ100名)



【第2回 座学の様子】



【第3回 句会体験の様子】

3 花づくり人材育成事業

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会をNPO法人あわじ緑花協会に委託して講師を派遣し、材料費等の一部を助成した。

派遣件数 15件

(2) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立淡路景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」、または「まちづくりガーデナー・マスター」として知事認定証の交付を受けた者に対し受講料の一部として1人あたり1万5千円を助成した。

助成件数 12件

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催した。

(1) 2022 春(令和4年3月19日(土)～5月29日(日))

① オープニングイベント

開催日 令和4年3月19日(土)

場所 淡路ファームパークイングランドの丘
(南あわじ市)

内容 和太鼓「志童」による演奏、バルーンアートショー、花植え体験(花植えしたプランターは島民花飾りとして会場に展示)

参加者数 約200名(うち花植え体験70名)

② シンボルオブジェ「渦潮と大鳴門橋」の展示

展示期間 令和4年3月19日(土)～5月29日(日)

場所 うずしおドームなないろ館周辺

内容 花のオブジェやプランターを展示

③ 淡路花祭デジタルフォトラリー

開催期間 令和4年3月19日(土)～5月29日(日)

内容 花祭期間中、島内花の施設や花祭会場で撮影した写真をInstagramに投稿した応募者に対し、抽選で淡路島特産品をプレゼントした。

応募件数 72件(当選者数15名)

④ 淡路花祭PR花壇の展示

展示期間 令和4年3月19日(土)～4月24日(日)

場所 淡路サービスエリア(下り線)施設内レストラン前

内容 「淡路花祭春」をイメージした花壇を展示

⑤ 第9回お絵かき花壇づくりコンテスト作品展示

展示期間 令和4年3月27日(日)～5月29日(日)

場所 淡路島国営明石海峡公園

応募数 25点(入賞数10点)



【オープニングイベントの様子】



【シンボルオブジェの展示】



【淡路花祭春 PR 花壇の展示】



【お絵かき花壇展示風景】

⑥ 第10回淡路花祭フォトコンテスト

- 募集期間 令和3年9月27日(月)～令和4年6月10日(金)
部 門 「人・花」及び「花の札所」の2部門
応募数 157点
入選数 17点(グランプリ1点、人・花部門、花の札所部門:優秀賞各3点、佳作各5点)
巡回展示 9月1日(木)～9月29日(木) 淡路文化会館
10月1日(土)～10月16日(日) グランドニッコー淡路
11月3日(木・祝)～11月14日(月) 美菜恋来屋
11月25日(金)～12月25日(日) 洲本市文化体育館



【グランプリ(総合)】



【優秀賞(人・花部門)】



【優秀賞(花の札所部門)】

(2) 2022 秋(令和4年9月17日(土)～11月6日(日))

① 花と緑の講演会(くにうみ講座と併催)

- 開催日 令和4年9月25日(日)
場 所 淡路夢舞台国際会議場イベントホール
内 容 県立津名高等学校ギター・マンドリン部による
演奏、花と緑の講演会(平工詠子氏)

参加者数 139名



【県立津名高校による演奏】

② 第11回高校生花とみどりのガーデン

- 展示期間 令和4年9月17日(土)～10月30日(日)
場 所 県立公園あわじ花さじき
出 展 者 県下農林系高等学校10校、県立淡路景観
園芸学校



【高校生が創作した庭の展示】

③ 淡路花祭 PR 花壇の展示

展示期間 令和4年9月17日(土)～10月30日(日)
場 所 淡路サービスエリア(下り)施設内レストラン前
内 容 「淡路花祭秋」をイメージした花壇を展示



【淡路花祭秋 PR 花壇の展示】

(3) 冬咲きチューリップショー

① オープニングイベント ※雨天のため中止

実施日 令和5年1月14日(土)
場 所 洲本市民広場
内 容 テープカット、バルーンリリース、洲本こども園園児による鼓隊演奏、野菜産直市、竹細工教室等

② 冬咲きチューリップ展示

期 間 令和5年1月14日(土)～2月15日(水)
場 所 洲本市民広場、御食国、洲本バスセンター、
県民局及び島内3市庁舎、淡路 SA(下り)
内 容 5品種、11,400本のチューリップ展示



【冬咲きチューリップショー(洲本市民広場)】

③ 冬咲きチューリップの島民への無償配布

実施日 令和5年2月16日(木)
場 所 洲本市民広場

(4) 2023 春(令和5年3月18日(土)～5月28日(日))

① 花と緑の講演会(くにうみ講座と併催)

実施日 令和5年3月25日(土)
場 所 洲本市文化体育館
内 容 齊藤花梨さん(淡路島出身)によるサクソフォン演奏、花と緑の講演会(白砂伸夫氏)

参加者数 129名



【齊藤花梨さんによる演奏】

② 第10回お絵かき花壇づくりコンテスト作品展示

実施日 令和5年3月21日(火・祝)
場 所 淡路島国営明石海峡公園
応募数 26点(入賞数10点)

③ 第11回淡路花祭フォトコンテスト

募集期間 令和4年9月22日(木)～令和5年6月9日(金)
部 門 「人・花」及び「花の札所」の2部門



【入賞作品 ミツバチ大冒険】

④ インスタグラム「淡路花祭 2023 春」フォトコンテスト

募集期間 令和5年3月18日(土)～5月28日(日)

内 容 「私が見つけた淡路島の花風景」をテーマにインスタグラムによる写真の投稿を募集した。

投稿件数 152 件

2 花街道づくり事業

観光客等からよく見える国道・県道、または交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花の街道づくりを実施する個人・団体に対して20万円を上限に助成した。

助成件数 28 件

[内訳] 洲本市 11 件、南あわじ市4件、淡路市 13 件



【AGNペレニアルガーデングループ（淡路市）】

3 花の札所推進事業(あわじ花へんろ)

花の島・淡路島の魅力を広く発信するため、花の景勝地や観光施設等を「花の札所」として指定(R5.3.31 現在 74 箇所:洲本市 21 箇所、南あわじ市 22 箇所、淡路市 31 箇所)するとともに、スタンプラリーの開催や開花情報などの情報発信を通じ、「花の札所」の取組を支援した。

(1) 花の札所への支援等

① 花の札所拡充事業

花の札所が実施する花木剪定・植替や施設の利便性を高める整備等魅力向上や誘客のための取組に対し、20万円を上限に助成した。

助成件数2件

② 花の札所開花状況等情報提供促進奨励金交付

公的施設等を除く花の札所のうち、開花情報等の報告を年2回以上行った施設に対し、1施設あたり2万円の奨励金を交付した。

交付件数 27 件

③ 花の札所連絡会の開催

花の札所の管理者等が出席し、各札所の取組等について情報共有するとともに、意見交換を行った。

実施日 令和4年6月16日(木)

場 所 洲本市文化体育館会議室



【花の札所連絡会】

(2) 広報 PR

① 花の札所スタンプラリーの開催

花の札所を巡り、獲得したスタンプ数に応じて、淡路島の特産品などが当たるスタンプラリーを開催し、花の島・淡路島への誘客を促進した。

開催期間 毎年3月1日～翌年2月末日(通年)

※新たな試みとして、淡路花祭秋期間限定(令和4年9月17日(土)～11月6日(日))で少ないスタンプ数でスマートフォンから応募できるWEBスタンプラリーキャンペーンを実施した。

ア 四季のスタンプブック(小冊子)、花の札所スタンプラリーリーフレットの作成

花の札所を巡りスタンプを集める四季のスタンプブック(小冊子)を6,000部作成し、リーフレットと併せて、関係施設や希望者に配布した。

イ 花の札所スマホ版スタンプブック(WEBアプリ)の運用

花の札所スタンプ台に掲示のQRコードからスマートフォンで専用アプリにアクセスし、スタンプラリーに気軽に参加できる取組を行った。

登録者数:3,509名(令和5年3月31日現在)



【期間限定キャンペーン】



【四季のスタンプブック】



【花の札所スタンプラリーリーフレット】

エ 応募状況

スタンプ数	コース名	賞品	応募者数	当選者数
10 スタンプ	Aコース	2023 花の札所カレンダー	72名	40名
	Bコース	淡路島玉ねぎ5kg	141名	40名
20 スタンプ	Cコース	淡路島スイーツ	154名	30名
35 スタンプ	Dコース	淡路島鮎原米 10kg	83名	20名
74 スタンプ	Eコース(満願成就)	高級淡路牛 1kg 相当	45名	20名
計			495名	150名

② 花の札所 2023 カレンダーの作成

四季折々の花の札所を紹介した花の札所 2023 カレンダーを12月上旬に作成し、花の島・淡路島の魅力をPRした。

作成部数 550部 配布先 主に花の札所、マスコミ関係、賛助会員など

③ 花の札所花だよりによる情報発信

花の札所から提供のあった花の開花情報やイベント等を紹介する花の札所花だよりを毎月発行した。

発行部数 160 部/月 配布先 主に花の札所、観光案内所、マスコミ関係など

④ あわじ花へんろホームページによる情報発信

ホームページで、開花情報や花の札所からの最新情報などを随時発信した。

HP アドレス <https://www.awajihanahenro.jp>



【1 番札所 県立淡路島公園】



【33 番札所 ファームパーク
イングランドの丘】



【花の札所スタンプ台】

4 環境美化事業

「環境立島淡路島民会議」に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施した。

環境美化月間 7月、11月

全島一斉清掃実施日 7月3日(日)、11月13日(日)



【全島一斉清掃啓発ポスター】

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 地域活性化助成事業

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業及び「国生みの島」をテーマとした事業等を実施する団体に対し経費の一部として20万円を上限に助成した。

助成件数 6件(第1期:4件、第2期:2件)

2 淡路島ブランド広域推進助成事業

淡路島の地場産品を利用して魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し、島内外で広く事業を展開する団体に対し経費の一部として50万円を上限に助成した。

助成件数 1件

3 淡路島総合観光戦略推進事業

平成30年2月に策定された「淡路島総合観光戦略」に基づく観光客の誘致等に向けた一般社団法人淡路島観光協会が取組を支援し、淡路地域の交流人口の増加や活性化を図った。

(1) 淡路島総合観光戦略の推進

主な取組	内 容
専門民間人材の登用	広報・マーケティングに優れた専門民間人材を引き続き登用
淡路島観光会議等の運営支援	淡路島観光会議(令和4年10月31日(月)開催)及び淡路島観光戦略会議(観光5者会議、令和4年6月29日(水)～令和5年2月1日(水)計4回開催)の運営を支援
淡路島総合観光戦略の改定	次期総合観光戦略(策定期間:令和5年度～9年度)の策定に向け、淡路島総合観光戦略策定会議(令和4年8月12日(金)～令和5年1月24日(火)計4回開催)の運営を支援
インバウンド対応に向けた情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> ①在日香港人・台湾人インフルエンサーを招いたファミトリップによる情報発信(令和4年10月25日(火)～27日(木)、11月16日(水)～18日(金))※神戸観光局及び関西エアポート等と連携 ②留学生による情報発信(令和4年8月9日(火)～10日(水))※関西観光本部と連携 ③台湾新光三越での『日本商品展』に参加しPRを実施(令和4年10月14日(金)～12月4日(日))※関西観光本部と連携 ④ホテルコンシェルジュに対しファミトリップを実施し、淡路島周遊ツアー造成に向け働きかけ(令和4年7月24日(日)～25日(月)) ⑤富裕層インバウンド向け、案内ガイド育成研修の実施(令和4年11月13日(日)～14日(月))



【インフルエンサーファミ
明石海峡大橋塔頂体験】



【留学生によるお香づくり体験の様子】



【ホテル関係者の淡路人形座見学】

(2) 来島者受入環境整備の実施

主な取組	内 容
島内の人材育成	セミナー等を開催し、食における島内の人材育成を図った。 ・料理人のスキルアップを図る動画の制作 ・淡路島創作料理コンテストの開催(令和5年2月 21 日(火))
島内観光情報の発信	関西のエンタメ・週末おでかけ情報等のサイト「Lmaga.jp」を活用し定期的に情報発信

(3) 大阪・関西万博等連携推進事業

① 兵庫デスティネーションキャンペーンに向けた連携

兵庫デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議のPRコーナーにおいて、淡路島産食材(牛肉・はも・玉ねぎ)を振る舞い、食材の魅力を伝えた。

開催日 令和4年9月 26 日(月)

場 所 神戸ポートピアホテル南館



【振舞いの様子】

② 大阪・関西万博に向けた連携

県主催の説明会に参加し意見交換するなど、県・県民局・3市等関係機関と連携を図った。

(4) ヘルスツーリズムの推進

主な取組	内 容
ツアープログラムの商品化を目指した取組	・ツアープログラム(「あわじタラソテラピー」で身体のなかから美しく、「CAMP de Knippe」で自然治癒力を高める)の試験販売(令和5年1月 計3回実施 12 室募集し5室販売) ・インフルエンサーを活用したPRを実施(令和4年 12 月2日(金)～12 月4日(日))
「ヘルスツーリズム認証制度」登録を目指した取組	造成したツアープログラムについて、経済産業省が所管する左記制度への登録に向け勉強会を開催(令和5年2月9日(木)～2月 10 日(金))
情報発信	ヘルスツーリズムに関連したWEB ページ及びパンフレットにより広範囲・持続的に情報発信
意見交換会の開催	事業に携わる事業者、関係者による意見交換会を開催(令和5年2月9日(木)～2月 10 日(金))

(5) サイクルツーリズムの推進

① サイクリング周遊イベントへの参画

デジタルスタンプラリーを行うサイクリング周遊イベント「CYCLE BALL SEASONⅢ」に参画した。開催期間 令和4年4月29日(金)～12月27日(火)

② 情報発信

ホームページ「AWAJI ISLAND CYCLE TOURISM」により情報を発信した。

③ アワイチノベルティ「反射ステッカー」の製作・配布

令和5年1月4日～3月31日、島内観光案内所他で配布

④ アワイチノベルティ「マフラータオル」の製作



【CYCLE BALL SEASONⅢ サイト】



【反射ステッカー】

4 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド 150 支援事業

県及び島内3市等で構成する「淡路島ロングライド 150 実行委員会」に参画し、運営経費を負担するとともに、前夜祭及び出走当日の運営、広報、4箇所のエイドステーションでのふるまい等の活動を支援する。(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

中止に伴う代替イベントとして、ツールド・ニッポン主催の「CYCLE BALL SEASONⅢ」とコラボレーションし、9月～11月にアワイチステージを制覇した参加者に抽選でロングライド特別賞をプレゼントする分散型イベントを実施した。 イベント参加者数 139名

(2) 明石海峡大橋等橋上イベント事業

県、島内3市等で構成する「本四道路活用イベント実行委員会」に参画し、地域間交流や本四道路の利用促進の一環として実施している体験ツアーの開催を支援した。

① 明石海峡大橋海上ウォーク

開催日 令和5年3月18日(土)・19日(日) 参加者数 2,011名

② 大鳴門橋うずしおウォーク

開催日 令和5年3月18日(土)・19日(日) 参加者数 251名

③ 明石海峡大橋・大鳴門橋2橋ウォーク同時開催

開催日 令和5年3月18日(土)・19日(日) 参加者数 256名

(3) 広域連携イベント等支援事業

淡路全島で取り組む広域的な事業として、島内外の事業者と島内3市が連携し、淡路島の食と観光、住まいの魅力を発信する「淡路島マルシェ～ええもん 美味しいもんフェア 2022」の開催を支援した。

開催期間 令和4年10月11日(火)～10月15日(土)

場 所 JA 東京アグリパーク(東京都渋谷区代々木)

来場者数 3,165名



【物産販売の様子】

(4) Awaji Art Circus 支援事業

国内外で活躍するアーティストによるパフォーミングアートフェスティバル(Awaji Art Circus)を支援するため、同実行委員会(県、島内3市等で構成)に参画するとともに助成を行った。

取組	期間	場所	来場者数
Awaji Art Circus2022 春	令和4年5月20日(金)～22日(日)、5月28日(土)～31日(火)	青海波(劇場 波乗亭)	約1,200名
Awaji Art Circus2022 秋	令和4年9月24日(土)～10月2日(日)	同上	約1,150名

5 フィルムオフィス事業

淡路島内での映画、テレビ番組、テレビCMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配等を行う「淡路島フィルムオフィス」の活動を支援した。

令和4年度は、令和5年1月6日公開の映画「嘘八百なにわ夢の陣」やカンテレショートフィルム「moments」のロケ誘致にも成功した。

(1) ロケ等支援実績

ロケ相談件数 60 件。うちロケ支援実績 35 件(令和5年3月31日現在)

〔内訳〕映画2件(自主制作含む)、TVドラマ3件、TV番組15件、TVCM5件、配信用1件、スチール撮影3件、MV・PV・PR映像等6件



映画「嘘八百なにわ夢の陣」
(大浜公園)



カンテレ 12K/HDR
ショートフィルム「moments」
(洲本市五色町鳥飼上、鳥飼浦)

(2) うみぞら映画祭の開催支援

海の上に巨大なスクリーンを浮かべ、砂浜から映画を楽しむ「海の映画館(大浜海水浴場)」をメイン会場に開催された映画祭を支援した。

今年度は、飲食ブースなどのナイトマーケットを再開したほか、新たな試みとして、洲本市民広場赤レンガ倉庫にスクリーンを設置し、「空の映画館」として無料上映会を開催するとともに、思い入れのある作品等を上映する「誰でも1作品映画館長」企画を開催したレトロ映画館(洲本オリオン)会場では、笹野高史氏が舞台挨拶で登壇し盛況を博した。

なお、台風14号の接近に伴い一部の企画が中止になったことに伴い、代替イベントとして「空の映画館とうみぞらナイトマーケット」を10月1日(土)及び2日(日)に開催した。

企画名	開催期間	場 所	来場者数
海の映画館	令和4年9月17日(土)	大浜海水浴場	約2,500人
空の映画館	※9月18日(日)～19日(月・祝)は台風のため中止	洲本市民広場	
誰でも1作品映画館長	令和4年9月17日(土)～18日(日) ※9月19日(月・祝)は台風のため中止	洲本オリオン	



【海の映画館】
(大浜海水浴場)



【空の映画館】
(洲本市民広場)

6 淡路島日本遺産推進事業

平成28年4月に認定された日本遺産「国生みの島・淡路」を生かした地域づくりを推進するため、県民局、島内3市、淡路青年会議所、淡路島観光協会等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、淡路島日本遺産の情報発信、全国くにうみマンガワールドカップ支援等にかかる経費を負担した。

(1) 情報発信・人材育成事業

① サポータークラブ研修の開催

開催日 令和4年7月20日(水)
場所 南あわじ市滝川記念美術館 玉青館
内容 「日本最古級の“松帆銅鐸”なぜ淡路島が「古事記」の冒頭に記されたのか？その謎に迫る」
講師:南あわじ市埋蔵文化財事務所 定松氏、玉青館 奥井氏

参加者数 14名

② 外国人(淡路ユースフェデレーション)向け研修の開催

日時 令和4年12月15日(木) 9:00~12:00
場所 伊弉諾神宮
内容 外国人は淡路島の魅力をどう感じる？
講師 伊弉諾神宮 権禰宜 本名氏
淡路市教育委員会 伊藤氏

参加者数 8名

③ 情報発信

島内各地の取組等を紹介するタブロイド紙の島内全戸配布(令和5年度3月末)

(2) 普及啓発事業

① スマホ RPG はじまりの島「日本創世譚」配信PRイベント

実施日 令和4年4月23日(土)~24日(日)
場所 淡路ファームパークイングランドの丘

② 第3回全国くにうみマンガワールドカップの広報

標記大会(応募期間令和4年7月1日~11月30日)の広報を新聞、インターネット等で実施。

【表彰式】

実施日 令和5年2月26日(日)
場所 HELLO KITTY SHOW BOX

③ 淡路島日本遺産 PR ポスター・チラシの製作・配布 (令和4年10月下旬)



【①研修会の様子】



【②研修会の様子】



【PR イベントの様子】



【淡路島日本遺産 PR ポスター】

④ 日本遺産フェスティバル in 関門でのブース出展 PR

開催期間 令和4年10月29日(土)～10月30日(日)

場 所 山口県下関市 海峡メッセ下関



【展示ブースの様子】

(3) 海人調査研究事業

淡路島で発掘された製塩土器の研究成果等とりまとめ検討会の開催(令和4年8月、令和4年12月)

IV あわじ環境未来島構想の推進

県、市、地域団体、企業等と協働して持続可能な地域づくりを目指す「あわじ環境未来島構想」を推進した。

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の設置運営

【第1回総会の開催】

開催日 令和4年6月1日(水)

場 所 淡路夢舞台国際会議場メインホール

内 容 副会長の選任や規約改正、総合特別区域事後評価等の議決事項の協議



【総会の様子】

2 あわじ環境未来島構想の啓発推進

(1) あわじ環境未来島セミナー

あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されている各種事業への関心を高めるため、プロジェクト現場等を見学するセミナーを開催した。

開催日 令和4年10月29日(土)

場 所 南あわじ市内

行 程 サンライズ(株)南あわじメガソーラー発電所
⇒アグリミュージアム NADA⇒沼島⇒
美菜恋来屋

参加者数 32名



【沼島「おのころクルーズ」の様子】

(2) あわじ環境未来島副読本活用事業

あわじ環境未来島副読本「みらい」を島内の小学生高学年等に配布し、授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとした。

発行部数 2,500部(令和5年3月発行)



【副読本「みらい」】

(3) あわじ環境未来島構想の推進に係る情報発信

ホームページ及びインスタグラムにより構想の取組を随時発信した。

HP アドレス <http://www.awaji-kankyomirajima.jp/>

インスタグラム https://www.instagram.com/awaji_kankyomirajima



【あわじ環境未来島構想HP】



【インスタグラム】

3 「EVアイランドあわじ」推進事業

(1) EV導入補助事業

島内のレンタカー等の事業者を対象にEV車両の導入補助を行い、島内住民がEV車両を体感できる機会の充実を図った。

受付期間 令和4年4月1日(金)～令和5年1月17日(火)
(募集期間は令和5年2月28日までであったが、予算額に達したため受付を終了した。)

助成件数 8件



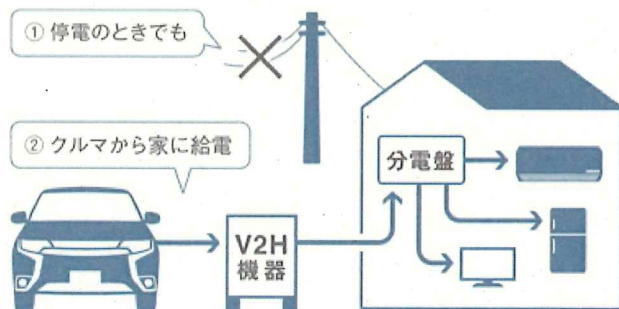
【あわじ環境未来島構想のラッピングを施したEV】

(2) EV用充電器及び住宅充給電システム設置補助事業

EV車両の導入促進と充電インフラ整備を図るため、島内の事業所を対象にEV用充電器または住宅充給電システム(V2Hシステム)の設置に対して補助を行った。

受付期間 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)

助成件数 2件



【住宅充給電システム (V2H システム)】

4 エネルギーの地産地消促進事業(家庭用蓄電池の導入支援)

島民の省エネに対する取組を促すため、太陽光発電設備が設置されている住宅に一定の要件を満たした家庭用蓄電池を設置する者に対し費用の一部として1件あたり15万円を上限に支援した。

受付期間 令和4年4月1日(金)～令和5年2月28日(火)

助成件数 61件

5 住民参加型太陽光発電事業(住民参加型くにうみ太陽光発電所)

(1) 稼働状況等

県が住民参加型市場公募債を発行して県民から募った資金を発電所の建設・運営資金として借り受け、県立淡路島公園隣接用地にメガワット級の太陽光発電所を建設し、全量売電を行っている。

- ・場 所 淡路市岩屋2423番地(県立淡路島公園隣接用地約1.4ha)
- ・発電出力 950kW
- ・計画発電量 100万kWh
- ・令和4年度発電量 約130万kWh(一般家庭約300世帯分の年間電気使用量に相当)

(2) 長期経営計画について

当事業は、県が県民債を発行して調達した資金(4億円)を借り受けて実施しており、発電実績は事業開始以降、安定して年間予定発電量(1,000,000kwh)を上回っている。

借入金 は売電収入から返済することとし、令和5年3月末現在、借入残高は、2億1,760万円で、令和15年度まで償還計画通り毎年2,060万円ずつ返済していく。

V 普及啓発

当協会の事業を周知するため、様々な媒体と機会を活用し情報発信に取り組んだ。

1 ホームページ等による情報発信

ホームページで、当協会の事業及び淡路島の情報を発信した。

新たにインスタグラムやフェイスブックのサイトも立ち上げ、スマートフォン向けの情報発信を行った。

HP アドレス <https://www.kuniumi.or.jp/>

インスタグラム <https://www.instagram.com/kuniumi2001/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/people/淡路島くにうみ協会-411543476250362/>



【協会ホームページ】



【インスタグラム】



【フェイスブック】

3 各種媒体を使った広報

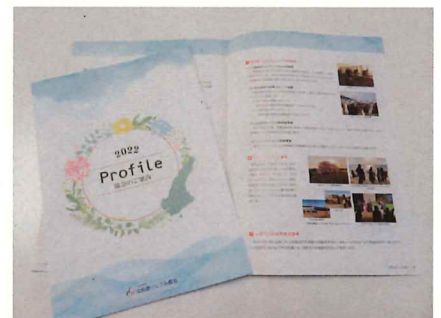
ノベルティグッズ(「2023 花の札所カレンダー」や花の種等)を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行った。



【花の種】

4 協会広報紙(PROFILE)の作成

当協会の概要や事業を紹介する広報誌 500 部を作成し、配布した。



【協会広報紙 (Profile2022)】

5 淡路島花の応援団

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、淡路島のイメージアップを図っていくため、著名人に「淡路島花の応援団」を委嘱しており、令和4年11月5日(土)付で小林祐梨子氏(元陸上競技選手)に新たに委嘱した。

(委嘱者数 11名(令和5年3月31日現在))



【小林 祐梨子氏】

【附属明細書の作成について】

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

令和5年6月

一般財団法人 淡路島くにうみ協会